

花粉発生源対策推進PTの設置について

スギ・ヒノキの花粉発生源対策の推進においては、地域によって取組に大きなばらつきがあることから、各地域の底上げを図ることを目指し、全国知事会農林商工常任委員会に、「花粉発生源対策推進PT」を新たに設置する。

1 現状・課題

- スギ花粉症については、その罹患者が国民の約3割と推計され、医療費の支出・労働生産性の低下による経済的損失が生じている。
- 林野庁は「スギ花粉発生源対策推進方針」を策定。令和14年度までに花粉症対策に資するスギ苗木の我が国全体のスギ苗木の年間生産量に占める割合を約7割に増加させることを目標に設定。
- 県境を越えて飛来する花粉に対し、全国的に連携した取組が必要。
(参考) 花粉発生源対策にかかる各地域の状況～林野庁からの情報提供

H30	スギ苗木生産量 (千本)			ヒノキ苗木生産量 (千本)		
	花粉症対策に資する苗木	全苗木	割合	花粉症対策に資する苗木	全苗木	割合
北海道	0	236	0%	0	0	-
東北	169	4,756	3.6%	0	57	0%
関東	1,242	1,734	71.6%	204	490	41.6%
中部	437	957	45.6%	0	1,105	0%
近畿	311	1,094	28.4%	0	1,130	0%
中国	23	516	4.5%	659	2,008	32.8%
四国	33	753	4.4%	0	736	0%
九州	8,753	11,137	78.6%	1	844	0.1%
合計	10,968	21,183	51.8%	864	6,370	13.6%

2 PTの概要(案)

(1) 目的

「一層行動する知事会」の1つとして、花粉発生源対策に特化し、具体的な行動で国民的課題の解決を図る。

(2) 取組内容

- 花粉発生源対策における成功事例の情報共有により、各地域での取組を加速化
- 我が国全体として花粉発生源対策の加速化が図られるよう、各地域での普及啓発活動の充実
- 国産木材活用PTと連携しながら、必要に応じて国への提言・要請活動の実施

国産木材活用PT(リーダー:東京都)では、国産木材の利用拡大の取組を通じて、花粉発生源対策の推進に努めることを宣言しているところであるが、今回設置しようとするPTでは、花粉症対策に資する苗木による森林整備などの取組とすることで、国産木材活用PTとの役割分担を明確化する。

※取組に際しては、KPI(目標値、達成年度)を設定する。

(3) リーダー

岡山県知事を指名予定

※全国知事会として取組を推進したいという岡山県の意向に基づく。